
日本放送協会 理事会議事録

(2019年 4月17日開催分)

2019年 5月10日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2019年 4月17日(水) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、児野専務理事・技師長、
松原理事、荒木理事、黄木理事、菅理事、中田理事、鈴木理事、
松坂理事、今井特別主幹

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1328回経営委員会付議事項について
- (2) ラジオ中継放送局の設置計画について

2 報告事項

- (1) テレビジョン中継放送局の廃局について
- (2) ラジオ中継放送局の開局について
- (3) 放送技術審議会委員の委嘱について
- (4) 考査報告

議事経過

1 審議事項

(1) 第1328回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

4月23日に開催される第1328回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として、「ラジオ中継放送局の設置計画について」、「『職員の給与等の支給の基準』の改正について」、および「NHK情報公開・個人情報保護審議委員会委員の委嘱について」です。また、報告事項として、「2018年度第4四半期業務報告」、「視聴者対応報告(2019年1～3月)について」、「テレビジョン中継放送局の廃局について」、「ラジオ中継放送局の開局について」、「NHK情報公開・個人情報保護の実施状況(2018年度)」、「2018年度契約・収納活動結果」、「『東京オリンピック・パラリンピック推進委員会』について」、および「地方放送番組審議会委員の委嘱について」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) ラジオ中継放送局の設置計画について

(児野専務理事・技師長)

ラジオ中継放送局の設置計画について、審議をお願いします。

設置に向けての諸条件が整った3局について、ラジオ中継放送局を設置したいと考えます。いずれも総務省が2014年度に制度の整備を行った、FM波を利用したラジオ中継放送局開設の制度を活用しています。

今回の設置により、石川県輪島市門前町の一部地区で約2,000世帯、岡山県高梁市の一部地区で約5,400世帯、島根県浜田市と益田市の一部地区で約2,800世帯の受信状況を改善します。

開局はいずれも2020年度の予定です。

本件が了承されれば、4月23日開催の第1328回経営委員会に諮ります。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

2 報告事項

(1) テレビジョン中継放送局の廃局について

(児野専務理事・技師長)

地上デジタルテレビジョン中継放送局の廃局について報告します。

共同受信施設への加入により、受信者が皆無となった岡山県の大原テレビジョン中継放送局（総合・Eテレ）を廃局します。廃局予定日は2019年5月31日です。

なお、廃局にあたっては、地元自治体および自治会からの同意をいただいています。

本件は、4月23日開催の第1328回経営委員会に報告します。

(2) ラジオ中継放送局の開局について

(児野専務理事・技師長)

2018年10月から2019年3月までのラジオ中継放送局の開局について報告します。

5県で7局（注）が開局しました。7局ともFM波を利用したラジオ中継放送局です。和歌山県のすさみ局は津波対策を目的としたものです。そのほかの6局は受信改善を目的としたもので、開局により、約2,800世帯で聞こえづらい状況が改善しました。2019年3月末までの累計で、ラジオ第1は265局、ラジオ第2は146局で放送しています。

本件は、4月23日開催の第1328回経営委員会に報告します。

注：2018年10月から2019年3月までに開局したラジオ中継放送局（7局）

〈秋田〉皆瀬、〈岩手〉岩泉小本、〈島根〉日原、〈高知〉仁淀、蟠蛇ヶ森、東津野、〈和歌山〉すさみ

(3) 放送技術審議会委員の委嘱について

(児野専務理事・技師長)

放送技術審議会委員の委嘱について、報告します。

2019年4月1日付で、河合俊明氏（株式会社東京放送ホールディングス代表取締役専務取締役）に新規委嘱しました。また、5月1日付で塚本幹夫氏（株式会社ワイズ・メディア取締役メディア・ストラテジスト、筑波大学客員教授）に新規委嘱します。

なお、村岡裕明氏（東北大学名誉教授）は、任期満了により、4月30日付で退任されます。

（4） 考査報告

（考査室）

2019年2月25日から4月9日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース21項目、番組63本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、「平成」に代わる新しい元号について、日本最古の歌集の万葉集を出典にした「令和」とすることを決定し、官房長官が発表したこと、統一地方選挙で11道府県の知事選と6つの政令市長選などが行われ、いわゆる大阪都構想の是非が争点となった大阪のダブル選挙は、いずれも大阪維新の会が制したこと、東日本大震災の発生から8年となった被災地では住宅再建がおおむね完了したとされる一方、5万人以上が今も避難生活を続け原発の廃炉作業も課題に直面していること、東京オリンピック・パラリンピックの招致を巡る贈賄に関与した疑いでフランスの司法当局から調査を受けているJOCの竹田恒和会長が、6月の任期いっぱいでの退任を表明したことなどがありました。

番組では、戦争で両親を失った少女が北海道・十勝の酪農一家のもとで成長し、やがてアニメーション制作の世界に飛び込んでいく姿を描く「連続テレビ小説 なつぞら」の第1週「なつよ、ここが十勝だ」（総合・4月1～6日放送）、1日1億円の被害が出る特殊詐欺に関わる未成年の若者が増え続けている実態を踏まえ、取材に基づくドラマとドキュメントで構成し描いた「NHKスペシャル 詐欺の子」（総合・3月23日放送）、食べられるのに捨てられる「食品ロス」をめぐる課題を明らかにした「クローズアップ現代+（プラス） 食費が激減！？ “食

品ロス”だけで暮らしてみた」(総合・4月3日放送)、福島第一原発の事故発生直後に福島に入った医師たちが撮影した3,000枚の写真と証言から、命をめぐる重い判断を迫られた当時の医師たちの1週間に迫った「E TV特集 誰が命を救うのか 医師たちの原発事故」(Eテレ・3月9日放送)などを考査しました。

地域番組では、4月実施の統一地方選挙を前に、中国地方でも深刻な問題となっている地方自治体議員のなり手不足の実態を伝え、克服への道考えた「ラウンドちゅうごく 地方議会クライシス」(総合・中国ブロック・3月1日放送)、東日本大震災で大停電となった8年前の3月、さまざまな状況下で満天の星空を見上げた被災者の思いについて、NHK仙台放送局に寄せられたお便りなどとともに伝えた「東北ココから あの日の星空」(総合・東北ブロック※秋田県域除く・3月8日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送「NHKワールド JAPAN」では、ニュース5項目と番組3本の考査を実施しました。

5年前のクーデター以降、軍主導の暫定政権が続くタイで行われた総選挙について伝えた「NEWSROOM TOKYO」(日本時間3月19・20、22、27日放送)ほか、長野県・軽井沢のホテルや旅館を訪ね、日本ならではの宿泊体験を伝えた「Have A Nice Stay! NAGANO」(日本時間3月21日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2019年 5月 7日

会 長 上 田 良 一